

# 京都御苑 ニュース

# 夏

## 私の好きな散策ポイント 御苑の涼を求めて 竹元 恵



出水の小川

六月、アジサイの開花に梅雨の訪れを感じていると、ナツツバキが咲き始め、やがてヤマユウガの花が目につくようになります。そしてセミの鳴き声が聞こえはじると、京都御苑にも本格的な夏がやってきます。

「クールシェア(COOL SHARE)」という言葉があります。夏の猛暑日、家庭での電力消費の半分以上がエアコンであることに注目し、ひとり一台のエアコンをやめ、涼しい場所をみんなでシェアすること(共有する)ことで家庭での電力消費を減らすという取り組みです。昨年、環境省の省エネ施策のひとつになったことをきっかけに、実生活で取り入れることにしています。図書館や美術館などの公共施設でゆつくりと過ごす、自然が多くて涼しい場所に行ったりというものです。そうして暮らしていると、節電していることも忘れず、健康的に夏を送れる気がします。



ナツツバキ

六月、アジサイの開花に梅雨の訪れを感じていると、ナツツバキが咲き始め、やがてヤマユウガの花が目につくようになります。そしてセミの鳴き声が聞こえはじると、京都御苑にも本格的な夏がやってきます。

「クールシェア(COOL SHARE)」という言葉があります。夏の猛暑日、家庭での電力消費の半分以上がエアコンであることに注目し、ひとり一台のエアコンをやめ、涼しい場所をみんなでシェアすること(共有する)ことで家庭での電力消費を減らすという取り組みです。昨年、環境省の省エネ施策のひとつになったことをきっかけに、実生活で取り入れることにしています。図書館や美術館などの公共施設でゆつくりと過ごす、自然が多くて涼しい場所に行ったりというものです。そうして暮らしていると、節電していることも忘れず、健康的に夏を送れる気がします。

「出水の小川」は水にふれあう場としてつくられた百メートルほどの小川です。春、様々な品種のサトザクラが咲き誇るこの場所は、夏になると水遊びをする子供たちで賑わいます。八月には小川の向かい、胎範碑の側にあるサルスベリの花が見頃を迎え、青空と紅紫色の花のコントラストは爽快です。小川の傍らの木陰で子供達

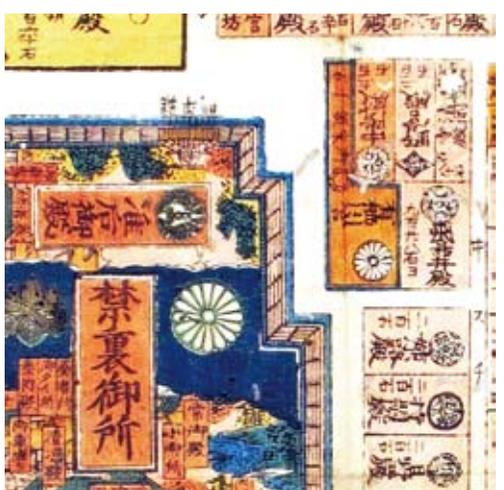
「母と子の森」は落葉広葉樹や野草地が広がる森で、小鳥が水浴びできるようつくられた「バードバス」や、昆虫、動物、きのこなどの図鑑、子供向け書籍、絵本、紙芝居などが揃った「森の文庫」があります。側には丸太でつくられたベンチやテーブルがあり、木陰の下で読書を楽しめます。また、ここから

あり、暑さを避けることができず。水分補給のための水筒を片手にお気に入りの場所を探して散策していると、生きもの達との新たな出会いもあります。

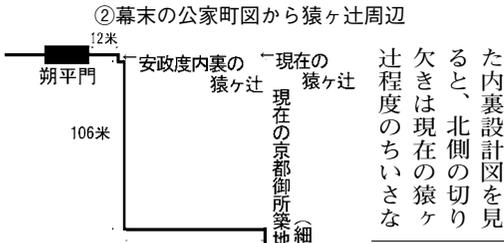
「出水の小川」は水にふれあう場としてつくられた百メートルほどの小川です。春、様々な品種のサトザクラが咲き誇るこの場所は、夏になると水遊びをする子供たちで賑わいます。八月には小川の向かい、胎範碑の側にあるサルスベリの花が見頃を迎え、青空と紅紫色の花のコントラストは爽快です。小川の傍らの木陰で子供達



胎範碑とサルスベリ



「トンボ池」は普段自然環境保全のために閉鎖されていますが、八月の数日間一般に公開されます。水生昆虫やカエル類などの生息場所になっており、この時期はオオシオカラトンボやモリアオガエ



「拾翠亭」は九條家の別邸茶室として江戸後期に建てられたと伝えられ、御苑の歴史を今に伝える貴重な建築物のひとつです。高倉橋から望む書院風数寄屋造りの拾翠亭と九條池の広がる景色に、かつての様子を想像します。



①現在の猿ヶ辻

「禁裏御所」は現在の京都御苑の中心部にあり、平安朝から室町幕府にかけての御所跡です。現在は「禁裏御所」の礎石や土壌が残り、その歴史を伝えるために「禁裏御所」の歴史資料館が設けられています。

「母と子の森」は落葉広葉樹や野草地が広がる森で、小鳥が水浴びできるようつくられた「バードバス」や、昆虫、動物、きのこなどの図鑑、子供向け書籍、絵本、紙芝居などが揃った「森の文庫」があります。側には丸太でつくられたベンチやテーブルがあり、木陰の下で読書を楽しめます。また、ここから

「母と子の森」は落葉広葉樹や野草地が広がる森で、小鳥が水浴びできるようつくられた「バードバス」や、昆虫、動物、きのこなどの図鑑、子供向け書籍、絵本、紙芝居などが揃った「森の文庫」があります。側には丸太でつくられたベンチやテーブルがあり、木陰の下で読書を楽しめます。また、ここから

自然はわれらを われらは自然を

絶えまない人と自然の連携を象徴するメビウスの連環。これが息の長い活動が期待される自然保護のシンボルマークに表現されています。

発行人  
〒602-0881 京都市上京区  
京都御苑3番地  
☎075-211-6364

一般財団法人 国民公園協会  
京都御苑 加藤博之

編集  
白川書院

監修  
環境省京都御苑管理事務所

本紙は再生紙を使用しています。

### 猿ヶ辻はどんなところだったのか

伊東 宗裕

ものである。図③でこの部分を簡略化して示した。メートルに換算した値もおおざっぱなものである。

猿ヶ辻の変は、当時の史料には朔平門外の変といわれていた。図③で見ると、現在の猿ヶ辻は事件当時よりも朔平門から八十メートル以上遠ざかっている。いま猿ヶ辻に立つと、なぜこの事件が朔平門外の変といわれたり猿ヶ辻の変といわれたか、よく理解できない。しかし当時の内裏の姿を考えると朔平門と猿ヶ辻は十二メートル程度しかはなれていない。納得できるのである。

内裏の東北部は、慶応二年(一八六六)二月に拡張されて現在の姿になった。この拡張は和宮の婚姻(降嫁)の謝恩として文久二年(一八六二)に幕府が企画したが、不穏な情勢のなかでのびのびにならなかった。

事件当時の猿ヶ辻付近は屈曲していて、東からは有栖川宮の邸宅がせまっていた。いまのひろびろとした猿ヶ辻からは想像できない。待ち伏せには絶好の地だった。

(京都市 歴史資料館)

### 催 事 案 内

#### ■平成25年京都御苑自然教室

初心者の方を対象とした自然教室の今後の予定は、下記のとおりです。都市の中で貴重な緑をもつ御苑で、夏の自然を観察しましょう。

#### 夏の自然教室「夏の御苑にふれよう」

7月21日(日) 9:30~12:00

**主 催** 環境省京都御苑管理事務所 TEL.075(211)6348  
一般財団法人 国民公園協会 京都御苑 TEL.075(211)6364

**指 導** 京都自然観察学習会の先生方に指導して頂きます。  
**内 容** 夏の御苑にはどんな草花やキノコがあり、どんな虫や鳥たちが生活しているか観察します。

**集 合 場 所** 京都御苑 乾御門前  
(上京区京都御苑内西北門)

**受 付 時 間** 当日 9:00~9:20

**参 加 費** 保険料100円

**そ の 他** 筆記用具をご持参下さい。手持ちのルーペ、双眼鏡、図鑑などの観察用具があると便利です。ハチの被害を避けるため、服装については、黒い衣類や帽子は着用しないようお願いします。



#### \*以降の自然教室予定

#### 秋の自然教室「秋の御苑にふれよう」

平成25年11月17日(日) 9:30~12:00

#### 夏のトンボ池一般公開

■自然環境保全の観点から閉鎖している「トンボ池」を期間限定で一般公開します。期間中はスタッフによるミニ解説も行います。

- 8月2日(金)~4日(日)
- 9:00~11:30(最終入場は11:20まで)
- 場所:富小路口から北東へ徒歩約5分
- 当日現地にて受付 ■入場無料



#### 「閑院宮邸跡」見学

京都御苑南西角の創建以来の場所に建つ、「閑院宮邸跡」。収納展示室では、京都御苑の歴史や自然の資料が展示されています。苑内散策の折には是非お立ち寄り下さい。

収納展示室 午前9時~午後4時(午後4時30分閉館)  
休館日/月曜日(月曜日が祝祭日の場合は開館)、年末年始

#### 御苑の花暦

和 名	開 花 期	主に見られる場所
ナツツバキ	6月~ 7月	中立売御門東側
アベリア	5月~11月	大宮・仙洞御所 東側散策道沿い
サルスベリ	7月~ 9月	間ノ町口内、九条池周辺 建礼門前、寺町御門、等

#### 会 員 募 集

一般財団法人 国民公園協会 京都御苑  
年会費 ●普通会員 1,000円以上  
●賛助会員(会社・団体) 10,000円以上

#### 会 員 へ の 特 典

1. 本会発行物をそのつど送付します。(御苑ニュースは会費収入で発行されています。)
2. 葵祭、時代祭の招待券を進呈します。(ただし、普通会員は会費4,000円以上の方に限ります。)

#### ■申し込み、問い合わせ先

一般財団法人 国民公園協会 京都御苑  
住所 京都市上京区京都御苑3  
〒602-0881 TEL.075(211)6364



クマゼミの成虫



クマゼミの成虫の♂の腹部の腹弁



クマゼミの羽化殻の腹面下部(左♂・右♀)

## 夏の自然教室「昆虫」の観察ポイント

谷 幸樹



#### セミの観察

夏、京都御苑では朝からにぎやかなセミの鳴き声の演奏が聞こえてきます。「シヤアシヤア」の声はクマゼミで、「ジーリリリ」の声はアブラゼミで、「チー」の声はニイニイゼミです。クマゼミは日本最大

つまっています。夕方からセミの羽化を観察することが出来ます。ケヤキ・サクラの木を根元を十八時頃見ると幼虫が、穴をあけて出てきます。樹木に登り羽化します。羽化を観察すると透明な翅が伸びていく様子が



ウスバキトンボの幼虫

また、セミの羽化殻を見れば、種名や雌雄が判明できます。羽化殻のある樹木や高さ、方向等を調べてみましょう。ウスバキトンボの観察

ウスバキトンボは、赤道を中心に両半球の熱帯・亜熱帯および温帯に広く分布し、日本ではほぼ全土で見られます。卵や幼虫はきわめて



ウスバキトンボの成虫

成長が速く、夏の高温期には産卵してから五日以内

にふ化することもあります。幼虫期間は二十五日から三十日です。羽化してから一週間

で生後が可能な一週間、交尾・産卵を行います。秋から冬にか

けて、卵・幼虫・成虫は死滅します。幼虫は寒さに弱く、琉球列島から北の地域では、越冬が確認されていません。卵や幼虫に休眠性がないために一定の寒さに気温が下がると死に絶えると考

えられています。南方では一カ月半ごとに世代を繰り返します。個体密度が過剰になり、毎年四月・五月頃に季節風に乗った若い個体が大群で北上します。たどり着いた個体は、池・プール・小川などに産卵します。七月には第二世代が羽化し、第三世代が八月中旬羽化し、八月下旬には膨大な数になって群飛し、さらに北方へ移動を繰り返しますが、冬になると死滅します。ウスバキトンボは一方通行の移動をすることで知られています。京都では、お盆の時

に群飛するので、「盆トンボ」と呼ばれています。京都御苑の池や小川等で羽化殻が見られるので調べて見ま



京都御苑から見える大文字

毎年八月十六日、京都の夜空を焦がす五山詩の一つです。「大文字」「左大文字」「妙法」「船形」「鳥居形」に火を灯し、先祖の精



#### 京都御苑大文字マップ

#### 京都御苑で大文字を見ませんか

西尾 泰介

ていみじく観察をしてみましよう。(京都自然観察学習会)

特に京都御苑の建礼門前、乾御門前、清和院御門前は隠れた鑑賞スポットです。午後八時に点火され、約三十分間点灯します。雲の間から覗く月灯りの中、広い苑内で砂利を踏みながら見ていると、昔の人になつたような気持ちになります。悠久の歴史に想いを馳せながら、大文字を見てみませんか。一般財団法人 国民公園協会 京都御苑